

BRAIN セミナー

基礎ってなあに?

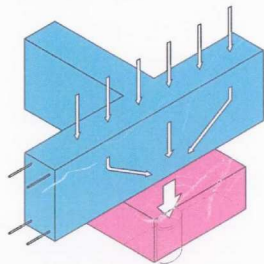
基礎は建物を支える一番大事な部分です。建物が完成すると見えなくなってしまう注目されるのがなくなってしまうのですが、建物がある限りがんばり続ける「緑の下力持ち」です。

基礎には建物を支える「ウデ」の部分とその重さを地球に伝える「足」の部分で出来ています。



脚 「ウデ」の部分は**越中梁**と呼ばれ鉄筋コンクリートで作られます。上からきた荷重を効率的に集め足に伝える役目を持ちます。

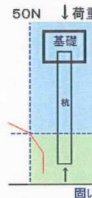
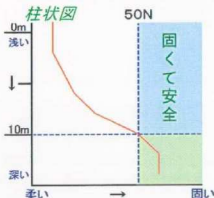
足 「足」はウデによって集められた力を地球に伝える役目を持ちます。「足」にはいろいろな種類があり、その土地に一番あった方法を採用します。



■ 「ウデ」 地中梁
■ 「足」 ベース

ブレインマンションの「足」

杭基礎 地中を調べて固い部分を探しその深さまで杭を打ち込んで支えます。



これで地震も大丈夫!!



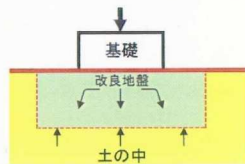
地盤改良 土は深くなるにつれて上の土をたくさん支えているため地耐力（地面の支える力）が大きくなります。そこで必要な地耐力を得る深さまで土を改良（かく）して建物を支えます。



改良材散布作業

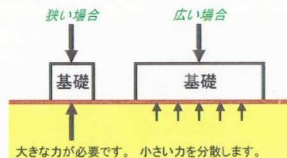


攪拌作業(まぜまぜ)



布基礎・べた基礎 地耐力が小さい場合でも足の地面につく面積を広くし、力を分散させて支えます。

ハイヒールでは洗ってしまいますがスックでは平気ですね。



見えなくなってしまう**基礎**しかし、一番大切な**基礎**ブレインマンションはしっかりとした調査をもとに適切な基礎を提供します。私共は、みなさんに**基礎見学会**を通じて、しっかりとした基礎を見ていただいております。